

1年B組 道徳科学習指導案

11月11日(火) 5限 1年B組教室

指導者 榎田 杏理

1 主題名 異性間における友情のあり方

2 主題設定の理由

(1) 内容項目について

本時で取り上げる内容項目は、中学校B・(8) 友情、信頼「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励ましあい、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」である。

この内容項目における友情とは、対等なものである。相手に信頼を求めるなら自分も相手を信頼しなければならない。そして自分が相手を信頼するとともに、相手にとって信頼できる友であるべきだと考えている。このことは、異性間においても同様であり、互いに相手の良さを認め合い共に成長しようとする姿勢が求められる。

第1学年は、中学生になり新しい人間関係が広がるとともに、周囲から自分がどのように見られているのかを意識しだす時期でもある。この内容項目を通して、異性間の友情についても考えさせ、性別を超えて互いに信頼し合えるような人間関係を培っていきたい。

(2) 生徒の実態について

(3) 教材について

本時に使用する教材は、「二人の通学路」(あかつき教育図書「中学生の道徳1」)である。

幼なじみの健と藍子は中学校で一緒に通学していた。何げない会話をクラスメイトに冷やかされ、もやもやとした気持ちになった健は藍子と距離をとるようになり、藍子は健の急な態度の変化に戸惑う。ある帰り道、藍子は自転車が横転し困っているおばあさんに出会う。通りがかった健を呼び止め一緒に自転車を立て直し、おばあさんを助ける。藍子からの変わらぬ信頼に健はどきりとしながら、二人は歩き始めるという内容である。

藍子からの言葉に健がどきりとした場面を取り上げ、グループでの話し合いなどを通して健の多様な気持ちを出し合わせ、周囲の受け止め方に惑わされるのではなく、互いに理解し合い信頼し合うことの大切さについて考えさせたい。

3 ねらい

男女の間で友情を育てていくにはどんな気持ちが必要なのか考える中で、周囲の受け止め方に惑わされるのではなく、互いに理解し合い信頼し合うことの大切さに気づき、男女間においても人間関係を深めていくという態度を養う。

学 習 活 動	主な発問と生徒の反応	指導上の留意点
1 男女の友情についての 実態調査の結果を見て、 本時の学習課題を知る。	○男女の友情は成立すると思うか。 ・する 自分にもいるから。 性別は関係ないから。 ・しない 周りに変な目で 見られて話せないから。	・事前の実態調査の結果を見せ、男女の友情に対してのさまざまな意見が出せるような雰囲気を作る。
男女の間で友情を育てていくにはどんな気持ちが大切なのか考えよう。		
2 教材「二人の通学路」を 読んで話し合う。 ・健の考えていたことについて、ワークシートに個人の考えをまとめる。 ・学習班のメンバー以外の異性と意見を交流する。 ・学習班に戻り、共有した健の気持ちをふまえて、男女の友情を育むために大切なことは何かを考え、ホワイトボードにまとめる。	○周囲に冷やかされたとき、健はどんなことを考えていたのだろう。 ・冷やかされて腹が立つ。 ・付き合っているとやられて恥ずかしい。 ・勝手な想像で決めつけられたくない。 ・自分だって親しく話しているくせに。 ◎「健なら来てくれると思ってた。」「来てくれるところが健らしくていいよね。」という藍子の言葉にどきりとした健はどんなことを思っていたのだろう。 ・2か月も無視してきたのに、藍子は自分のことをずっと信じていてくれていた。自分は人目ばかり気にしていたけれど、藍子は違っていた。(尊敬) ・周りの友達がどんな目で見ても気にすることはないんだ。助けに行くことをためらった自分が恥ずかしい。(後悔) ・周囲の目よりも自分たちの友達関係の方を大切にしたい。互いに分かり合い何でも言い合える今の関係を続けていきたい。(信頼)	・健と藍子の関係を黒板に整理した上で、教材を範読する。 ・複雑な健の心情を想像させ、できるだけ様々な感情を出し合えるようにする。 ・2か月間避けられてきた健に対しても、信頼を寄せる藍子の言葉であることを押さえる。 ・普段よく話をする同性の友達以外とも意見交流することを促し、多様な意見に触れられるようにする。
3 自分の友達関係を振り返り、異性間でも友情を育てることの大切さについてワークシートに書き込む。	○男女の間で友情を育むために大切だと思ったことを、今の自分の生活と重ねて考えてみよう。 ・これまでは周りの目を気にしてあまりかかわってなかったけど、これからは友達として何でも話し合える関係をつくっていきたい。 ・これまで興味本位ですぐに冷やかしたりしていたけど、友情という目で見えていくことが大切だと思った。	・そう考えた理由をこれまでの自分の友達関係を振り返りながら考えさせることで、自分にとって大切な価値として意識できるようにする。
4 まとめをする。	・男女の間の友情のあり方について、これからも考えていこう。	
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いなどを通して異性間の友情について多様な考えを出し合い、周囲の受け止め方に惑わされるのではなく互いに理解し合い信頼し合うことの大切さに気付くことができたか。 ・異性間の友情について感じる難しさや大切さについて自分自身とのかかわりの中で考え、異性間においても人間関係を深めていこうとする意欲を高めることができたか。 	